

ウイルスに負けないぞ!

児童生徒が分散登校 再会に笑顔

— 新型コロナ対策 —

新型コロナウイルスの感染予防対策として2月27日から臨時休校措置が取られた町内の全小中学校。児童生徒への適切な指導が必要との判断から、3月10、11の両日、分散登校が行われた。保護者の判断に基づく登校で、10日が中学校、11日は小学校が対象。このうち、虎杖小学校（前田道弘校長、児童38人）では、1～5年生と6年生に分けて時間差で実施。19日に卒業式を控える6人の6年生にとっては感慨深い一日となったようだ。この日を「楽しみにしていた」と言い、先生や友人との再会に、子どもたちの笑顔が広がった。健康状態の確認や今後の自宅での学習・生活についての連絡が目的といい、前田校長は「子どもたちは、いつも通り元気で良かったです」と話していた。



元気に登校した6年生と笑顔で迎える前田校長（3月11日、虎杖小学校）

町教委によると、卒業式は感染予防を配慮した形で、各校で予定通り実施されるという。3月23、24日には2回目の分散登校が行われ、25日から春休みに入る。（広報編集室）

敷島ファーム 子ども用マスク3000枚を寄贈

白老町内にも事業展開する敷島ファーム（本社栃木県那須町、高田正樹社長）は3月6日、子ども用マスク3,000枚を町に寄贈した。

同社は東日本大震災後、従業員の家族向けに2万枚を備蓄していたが、新型コロナウイルスが流行したことから白老のほか、那須町、那須塩原市にも各3,000枚を届けた。「特に北海道の感染者が多いので、お世話になっている町の皆さんに喜んでいただければ」と高田社長。戸田町長は「先が見えない中で、心強い限り。大切に使用させていただきます」と語り、小学校低学年児を中心に、児童クラブ、保育園、幼稚園にも提供したい考え。（広報編集室）



新型コロナに便乗した勧誘にご注意!

ウイルス感染拡大に便乗した詐欺や悪質商法の発生が懸念されます。

【実際に確認されている事例】

- 1.「ウイルス流行拡大の影響で金の相場が上がる」と金を買う権利を申し込むよう勧誘された。
- 2.マスクを無料で送付するというURL付きのショートメッセージがスマホに届いた。
- 3.「ウイルスについて大切な説明がある」と電話があり、自宅を訪問したいと言われた。

- ◆商品購入の勧誘やお金の要求を受けた場合、即決を避け、周囲に相談し、冷静な対応を!
- ◆マスク無料送付などと関心を引き、個人情報盗んだり、不正なアプリをインストールさせる手口が疑われます。絶対にURLをクリックしないようにしましょう
- ◆アポ電かもしれません!留守番電話やナンバーディスプレイなどを活用し不審な番号からの電話は最初から出ないようにしましょう

【過去の相談より、今後心配される事例】

- 1.「マスクが手に入らず価格が高騰している。この電話で購入すれば半額だ」と高価格での購入を勧誘される。
- 2.「手洗い、うがいだけでは予防として不十分だ。予防に効果がある健康食品がある」と効果が不確実と考えられる健康食品の勧誘を受ける。

◆偽の情報に惑わされないよう、情報収集に努めましょう!

～厚生労働省 HP で新型コロナウイルスについての最新情報が確認できます。

◆今後ウイルスを口実に次々と新たな手口が発生する可能性があります。一人で悩まず、すぐに周囲に相談しましょう!

警察相談専用窓口(24時間無休) #9110/白老町消費生活センター ☎82-2265

